

(配布先)
支店長・副支店長
施工担当部署長、建設所長
副部長・副所長・統括工事長
安全長・安全主任
工事長・工事主任
関西支店取引業者災害防止協議会

事務連絡 (安-2025-23)
令和7年7月8日

関西支店 安全環境部長

熱中症撲滅に向けた対策の強化について (指示)

7月2日現在、当社の熱中症発生件数は73件に上り、昨年同期と比較して51件の増加となっています。例年より早く急激に暑い季節が到来したため、体が暑さに慣れていないことが主な要因と考えられますが、迅速かつ適切な対応により重篤な熱中症が避けられていることは、皆様の日頃の努力の賜物と感謝いたします。

さて、本年6月より労働安全衛生規則の改正により、職場における熱中症対策が義務化されたことを踏まえ、当社では、熱中症災害防止に向けた対策を一層強化することとしました。

昨年度の当社の熱中症災害発生件数は187件でしたが、同業大手他社の中には27件と圧倒的に少ない件数に留まっているところもあります。この差は、熱中症対策への取組み姿勢やその内容に明確な違いがあることを示していると思われま

す。つきましては、添付の同業大手他社の熱中症対策事例を参考に、「熱中症は必ず防げる災害である」という認識を強く持ち、絶対に熱中症を発生させないという強い意志のもと、実効性のある対策を講じるよう指示します。

また、熱中症被災者本人には、「熱中症被災者アンケート」(別紙参照)をForms(<https://forms.office.com/r/kDeh7GEc3k>)で実施してもらおうこととしました。本アンケートは、熱中症災害防止に向けた実効性のある取組みを検討する上で極めて重要なものですので、できる限り正確に記入していただくよう協力願います。

※この事務連絡は、示達本 (安環安) 25-02(令和7年7月8日)安全環境本部発行に基づき作成しました。

以 上

熱中症被災者アンケート(2025年度版)

以下の質問事項に対する回答をFormsへ入力してください(リンクは本用紙下部に掲載)

熱中症被災者アンケート(2025年度版)

被災者情報(1/9)

1. 氏名 *
回答を入力してください
2. 年齢 *
答えの選択
3. 発生日 *
日付を入力してください(yyyy/MM/dd)
4. 発生時刻 *
00:00形式でご記入ください(例:12時35分-12:35)
回答を入力してください
5. 経験年数 *
答えの選択
6. 工事種別 *
答えの選択
7. 所属会社名 *
回答を入力してください
8. 下請次数
答えの選択
9. 職種 *
答えの選択
10. 作業場所の県名 *
答えの選択

作業環境(2/9)

11. 発症当日のWBGT *
(分からない場合は元請にご確認ください)
答えの選択
12. 室内外 *
答えの選択
13. 風通しの状況 *
答えの選択
14. 作業していた場所について *
答えの選択

休憩について(3/9)

15. 当日の作業形態 *
答えの選択
16. 当日の作業内容 *
例:コンクリート打設、外構工事、屋上防水工事など
回答を入力してください
17. 交代要員 *
答えの選択
18. 健康KYについて *
作業開始前の体調について確認を実施しましたか?
答えの選択
19. KY時にどのような内容を確認しましたか?(複数回答可) *
答えの選択
20. 1時間ごとに10分間の休憩を入れましたか? *
答えの選択
21. 朝の作業開始から発症までの時間と、休憩のタイミングについて
「休憩を取った時間」が複数回ある場合は②以降にご記入ください
答えの選択
22. 休憩をどこで行いましたか? *
答えの選択
23. 休憩を取った場所の設備について(複数回答可) *
答えの選択
24. 休憩中のクールダウンの実施について(複数回答可) *
答えの選択
25. 10分の休憩で不十分と感じた方は、休憩時間を延長しましたか? *
答えの選択
26. その他、休憩に関する指示が事前にありますか? *
答えの選択

作業中の装備について(4/9)

27. 作業中に身につけていた装備を全てチェックしてください
その他熱中症対策装備がある場合は、空白にご記入ください
答えの選択

症状について(5/9)

28. 症状の程度について *
答えの選択
29. 発症した内容(複数回答可) *
答えの選択
30. 発症した内容(複数回答可) *
答えの選択
31. 発症した内容(複数回答可) *
答えの選択
32. 発症後の行動について *
答えの選択

発症後の経過について(6/9)

33. 作業は何分程度継続しましたか? *
答えの選択
34. なぜ作業を継続しましたか? *
答えの選択
35. 現場での応急処置 *
答えの選択
36. 処置にどれぐらい時間がかかりましたか? *
答えの選択
37. 発症から応急処置に至るまでの様子について *
答えの選択
38. 措置の内容(複数回答可) *
答えの選択
39. 発症から職長報告までの時間について *
答えの選択
40. 職長への報告に時間が掛かってしまったのは何故ですか?
答えの選択
41. 発症から病院への到着までの時間について *
答えの選択
42. 病院で点滴を受けましたか? *
答えの選択

発症前の健康状態について(7/9)

43. 当日の体調について *
答えの選択
44. 症状についてご記入ください *
回答を入力してください
45. 水分を補給したタイミング(複数回答可) *
答えの選択
46. 摂取した飲料について
該当する箇所を全てチェックしてください(全く飲んでいない方は次へ進んでください)
答えの選択
47. 過去の熱中症歴について *
答えの選択
48. 持病について(任意)
今後の熱中症災害防止のために、可能な限りご回答をお願いします
答えの選択
49. 「有り」と回答した方(任意)(複数回答可)
今後の熱中症災害防止のために、可能な限りご回答をお願いします
答えの選択
50. 医師の所見がある方はご記入ください(任意)
回答を入力してください
51. 前日の睡眠時間について *
答えの選択
52. 睡眠の質について *
答えの選択
53. 前日の飲酒状態について *
答えの選択
54. 飲酒量について *
答えの選択
55. 当日の朝食・昼食の摂取について *
答えの選択
56. 食事の内容を記入してください *
回答を入力してください

熱中症防止対策の実施について(8/9)

57. 事業主からの熱中症に対する教育が実施されていきましたか? *
答えの選択
58. KY時に睡眠状況を職長から確認をされましたか? *
答えの選択
59. 作業を開始する前の水分補給について *
答えの選択

原因考察(9/9)

47. なぜ熱中症にかかったと思いますか? *
回答を入力してください



Formsへ回答を入力

<https://forms.office.com/r/kDeh7GEc3k>

「熱中症防止対策」～竹中工務店の取組に学ぶ～

令和7年6月23日 「会報 東基連」6月度 編集会議 資料



公益社団法人 東京労働基準協会連合会
常務理事 古賀睦之

「熱中症防止対策」～竹中工務店の取組に学ぶ～

熱中症警戒レベルの行動基準

WBGT	21℃以上 25℃未満	25℃以上 28℃未満	28℃以上 31℃未満	31℃以上 33℃未満	33℃以上 35℃未満	35℃以上
熱中症警戒レベル						
	注意!	警戒!	嚴重警戒!	危険!	熱中症警戒アラート 	熱中症特別警戒アラート 
 O.R.S タブレット	-	-	-	WBGT31℃以上でORSタブレット補給!		
 水分塩分補給	1回以上/ 60分	1回以上/ 60分	1回以上/ 45分	1回以上/ 30分	炎天下・風通しの悪い場所 などリスクの高い場所では 個別に作業調整 場合によっては延期も検討	
 休憩 クールダウン	午前1回 午後1回	午前1回 午後1回	午前2回 午後2回	午前3回 午後3回		
休憩時間の目安	午前10時／午後3時		午前10・11時 午後3・4時	午前9・10・11時 午後2・3・4時		

しっかり休憩、しっかり水分・塩分補給

「熱中症防止対策」～竹中工務店の取組に学ぶ～

熱中症対策重点事項

WBGT値31℃以上(危険レベル)予報時に全作業員へORSタブレット配布

東京本店管轄でWBGT値31℃以上での対策として、**WBGT値が31℃以上の予報が出た日は、全作業員にORSタブレットの配布を試行する。**

5月より作業所へ配布予定

※発注方法等については安全環境部より別途メールにて案内する。
(作業所の費用負担は無し)

WBGT31℃ (危険レベル) 予報

朝の強制給水時に
O.R.Sタブレットを摂取



※作業員へ摂取を推奨するが強制はしない

【取り組み例】



水に溶かして摂取



そのまま口に入れて摂取

「熱中症防止対策」～竹中工務店の取組に学ぶ～

熱中症対策重点事項

頭(脳)のクールダウンの実施

脳をクールダウンするために、**頸動脈（顎の角部）を15分以上冷やす**。冷やすタイミングは、休憩時だけでなく作業中も行うことで、より高い効果が期待できる。

■ **氷嚢**や**ネッククーラー**を使用し、作業中・休憩時に**脳のクールダウン**を実施して下さい！



休憩時に氷嚢でクールダウン
(東五反田再開発作業所)



製氷機とポリ袋で簡易氷嚢
(朝日生命国立社宅作業所)

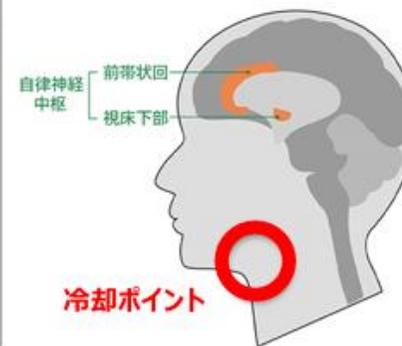
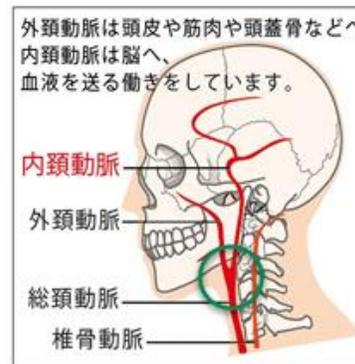


ネッククーラー等の使用も効果的



■ 脳のオーバーヒート

脳がオーバーヒートすると体内のコントロールが乱れ、体温や心拍、呼吸、血圧の調整などがうまくいかなくなり、体調不良を引き起こすので脳のクールダウンが重要となる。脳は頭蓋骨の中にあり、外気による熱の放散ができないので、**頸動脈を冷やして冷たい血液を循環させる**以外に方法はない。



「熱中症防止対策」～竹中工務店の取組に学ぶ～

熱中症対策重点事項

身体(深部体温)のクールダウン

作業所で行える深部体温の冷却方法として、冷たい飲み物を飲む以外にも「**手のひら(足の裏)を冷やす**」ことも効果的な対策となります。また、日頃から暑熱順化を行い、熱中症になりにくい体質を作ること意識しましょう。

■ 体内からの深部体温を下げる

水分補給としての目的もあるが冷たい飲み物(5～15℃)や効率よく冷却できるアイススラリーを摂取



■ 体表面からの深部体温を下げる

深部体温を下げるには特に手のひらを冷却することが効果的。従来から言われている「脇・足の付け根」など太い血管が体表近くにある場所を冷やす方法も効果が期待できる。



手のひら冷却



凍ったペットボトルや保冷剤を持つ方法でもよい

■ 暑熱順化をする



体を暑さに慣らす暑熱順化ができると、汗のかきはじめや皮膚血管拡張による熱放散が早くなり、深部体温が上昇しにくくなります。暑熱順化をした体は、同じ体温でもかく汗の量が多くなりますが、汗に含まれる塩分が減少しナトリウムを失いにくくなっているため、熱中症になりにくい状態になります。

・暑熱順化するには

→日常生活の中で、運動や入浴をすることで、汗をかくことが効果的

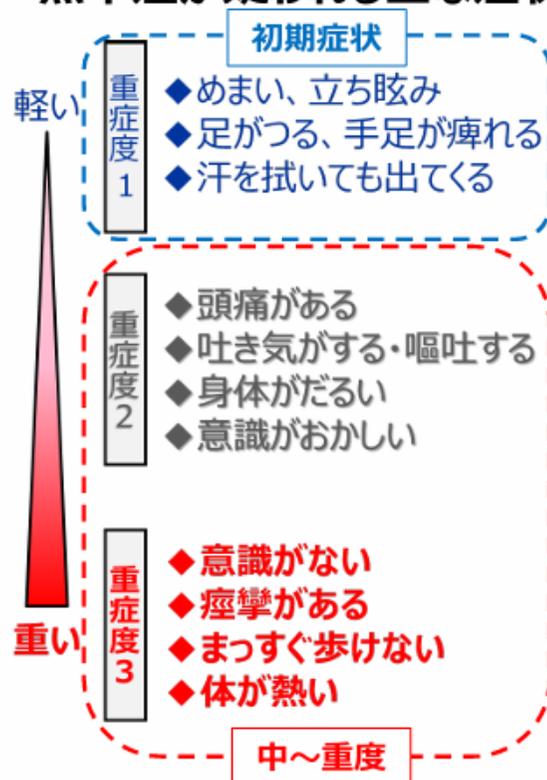
「熱中症防止対策」～竹中工務店の取組に学ぶ～

熱中症対策重点事項

熱中症の疑いによる病院搬送までの流れの確認(連絡体制も必ず確認！)

熱中症は初期症状段階で対応すれば重症化リスクが下がります。**初期症状が出たらすぐに報告、すぐに休憩させれる場所を用意し、病院で診察する際の注意事項も確認してください。軽度の症状でも必ず一人にしない、させない！**

・熱中症が疑われる主な症状



初期症状で即対応

- ・経口補水液の補給
 - ・体の冷却
- すぐに回復しない場合は
早めの病院診察を検討

初期症状でも専門家の
判断を仰ぎたい場合は
救急安心センター#7119
に相談する

中～重度症状が出た場合は
ガイドラインに従って速やかに
救急車要請

・対応と注意事項

病院で診察を受ける場合

- ・現状の症状だけでなく、前日の体調や、高血圧や糖尿病などの持病について医師に伝える。
※伝えないと熱中症によるものではなかった場合に正しい診断を受けられない可能性がある為
- ・点滴等を受けても翌日回復しない場合、病院を変えるなど再度診断する。
※別の病状である可能もある為

診察して帰宅後又は病院に行かず様子を見る場合

- ・帰宅後20時頃等、時間を決めてに事業主が体調不良者の安否を確認し、作業所に報告する。

「熱中症防止対策」～竹中工務店の取組に学ぶ～

熱中症対策 参考事例

施設面

・熱中症対策施設の整備

各所への扇風機・給水所・クールダウンスペースの配置、熱中症自販機の設置や応急セットの用意など早い段階で計画を立て設置してください。



ミスト扇風機の設置



体の冷却用製氷機の設置



中間階での給水場所の設置



熱中症対策自販機の導入



簡易クールダウンスペースの設置



熱中症応急セットの常備

「熱中症防止対策」～竹中工務店の取組に学ぶ～

熱中症対策 参考事例

行動面

・朝の強制給水の実施



朝礼後に水分補給できる施設を整備し必ずコップ1杯、強制給水を行う。

・アイススラリーやポカリの配布



職員・リーダー会で協力し、曜日・時間帯を設定し、アイススラリーやポカリを持って現場巡回を行う。強制的に水分補給、クールダウンをさせるとともに、声掛け、体調確認を図る。

「熱中症防止対策」～竹中工務店の取組に学ぶ～

熱中症対策 参考事例

啓蒙活動

・熱中症ポスター、熱中症ゼロ宣言等の掲示



熱中症ゼロ宣言
フォーマットもありますので
ぜひご活用ください



【活用事例】
職員・事業主・職長
それぞれが宣言を決め
意識向上!

朝礼場や休憩所等
見やすい場所に掲示しましょう!



熱中症の対策ポスターを休憩所やサイネージに掲示して作業員の熱中症意識の向上につなげる。
厚生労働省の外国語対応のポスターや元請・事業主・職長のゼロ宣言ポスターも活用ください。

「熱中症防止対策」～竹中工務店の取組に学ぶ～

忘れず実行 熱中症予防サイクル



「熱中症防止対策」～竹中工務店の取組に学ぶ～

作業中・休憩中の熱中症予防対策

身体を冷やそう!

首の後ろは効果なし! NG
首の横を冷やす! OK

首の左右
脇の下
手のひら
足の付け根
足首
足の裏

アイテム例

- ネッククーラー
- 氷嚢
- ペットボトル
- 保冷剤
- タオル

竹中工務店東京本店安全環境部・安全衛生協力会

作業中・休憩中の熱中症予防対策

自分の体は自分で守る(脳をクールダウン)

首の後ろは効果なし!
首の横(頸動脈)を冷やす!

作業中・休憩中にこまめに冷やそう!!

冷却時の便利グッズ

- ネッククーラー**
左右の氷のう部分に水と氷を入れ首を挟んで頸動脈を冷やします。
- 濡れタオル**
冷水に漬けて軽く絞って使いましょう。
- 保冷剤**
普段から多めに冷凍庫に入れておくと良いでしょう。
- ビニール袋**
袋を二重にして中に水と氷を入れてしっかりと結べば氷のうとして使えます。

その他の有効な冷却箇所
 脇の下
手のひら
太腿の付け根
足首
足の裏

竹中工務店東京本店安全環境部・安全衛生協力会

「熱中症防止対策」～竹中工務店の取組に学ぶ～

いつもより 気分が悪くなったら
**すぐに冷房の効いた
 部屋で休憩!**



- ① 介護者をつけ、一人にしない
- ② 経口補水液を飲ませ、氷のうで身体を冷却 (30～60分)
- ③ 事務所に報告

竹中工務店 東京本店

TAKENAKA

熱中症かな?  と思ったら

こんなときは**すぐに**周りの人に伝える

- めまい立ち眩み
- 手足がしびれる、攣る
- 頭痛、吐き気
- 意識が朦朧とする

※何も言わず1人で休憩すると非常に危険です!

➕ 涼しい場所に移動し、水分補給や体の冷却

[効果的ならだの涼やし方]

※軽度でも1人にせず
 必ず誰かが付き添う!



30分以上経っても症状が回復しないような場合は
 職長・竹中職員の指示で行動し、病院搬送

程度にかかわらず**職長・上司・竹中職員へ必ず連絡**
 つながらない場合は下記作業所事務所に連絡

○○○○作業所事務所
 ☎ : ××-×××-××××

※緊急の場合は応急処置を優先してください

▲ こんなときは・こんな人を発見したら **救急車要請! 119**

- 意識がない
- 痙攣
- 言動がおかしい
- 自力で水分補給ができない

作業所住所:

指定の病院名: ○○病院 ☎ ××-×××-××××

「熱中症防止対策」～竹中工務店の取組に学ぶ～

STOP! 熱中症 TOKYO2025 【作業所必須10項目】

準備期間	① 作業所は熱中症予防計画書を作成し、必要な設備を準備する。 <input type="checkbox"/> ミスト扇風機・送風機・スポットクーラー等の配置 <input type="checkbox"/> 塩飴・ウォータークーラー・製氷機・スポーツドリンク自販機の設置 <input type="checkbox"/> クールダウンスペースの設置、経口補水液・冷却パック・体温計の常備	準備
朝礼時	② 職長は一人ひとりの体調管理状況を確認する。 <input type="checkbox"/> 寝不足・飲み過ぎ・朝食抜き・下痢・嘔吐・発熱は要注意 <input type="checkbox"/> 高血圧・糖尿病・心疾患の有所見者は治療状況の確認 <input type="checkbox"/> ラジオ体操時に普段通りに体が動くか一人ひとり体調をチェック	体調 診る
	③ 作業所は朝礼時、熱中症警戒レベルの行動基準を周知する。	周知
作業時	④ 作業所は熱中症の危険度の高い作業・場所を特定し重点巡回を実施する。 <input type="checkbox"/> <u>作業から離れられない・空気が流れがない・保護具を外せない・言えない（未熟練者）は特に注意必要</u> → 外構工事・コンクリート打設・ピット内作業・日の当たる密閉空間・溶接・研等	見る
	⑤ 作業所は熱中症パトロールで声掛けを積極的に実施する。	声掛け
	⑥ 職長は、作業前・作業中の水分・塩分のこまめな補給状況を管理する。 <input type="checkbox"/> 朝一番の強制給水／目安 カップ1-2杯（塩分を含む） <input type="checkbox"/> 作業場所にジャグ等飲料の持込み指示確認	飲む
	⑦ 職長は熱中症予防保護具(防暑外・空調服等)の着装を確認する。 <small>※屋外作業では防暑外着用必須 既往歴のある者は空調服義務化</small>	遮る
	⑧ 職長は休憩時、作業中に氷のう等で身体の冷却を徹底させる。（脳のクールダウン）	冷やす
発症時	⑨ ちょっとでも異常を感じたらクールダウンスペースに移動しすぐに身体の冷却、報告をする。 <input type="checkbox"/> 事前に体調不良者発生時の報告・連絡体制を確認・整備する ※体調不良者は目を離さず、決して一人にしない	報告 冷やす
	⑩ 意識がない、自力で回復できない、30分以上回復しない場合は速やかに病院搬送する。 <input type="checkbox"/> 体調不良者の病状監視及び帰宅後の安否確認	報告

「熱中症防止対策」～竹中工務店の取組に学ぶ～

STOP! 熱中症 TOKYO2025 【事業主必須8項目】

熱中症予防
準備期間

① 4月末までに全員に熱中症予防教育テキストで教育を実施する。

教育

② 熱中症予防保護具（防暑外・空調服）を準備する。 ※屋外作業では防暑外着用必須
既往歴のある者は空調服義務化

遮る

③ 事前に体調不良者発生時の報告・連絡体制を確認・整備する。

体調

④ 有所見者の健康診断結果を職長に伝達する。

体調

□ 高血圧・糖尿病・心疾患・既往病等の有所見者は治療状況の確認

⑤ 熱中症警戒レベルに沿った注意喚起を定期的に配信する。

周知

⑥ 熱中症の危険の高い作業・場所については具体的な予防策を計画・指示する。

教育

□ 作業から離れられない・空気が流れがない・保護具を外せない・言えない（未熟練者）は特に注意

□ 外構工事・コンクリート打設・ピット内作業・日の当たる密閉空間・溶接・研

⑦ 事業主の熱中症パトロールで作業員に声掛けを積極的に行う。

声掛け

□ 食事の内容、睡眠時間、その日の体調、水分・塩分摂取状況、身体の冷却実施状況

□ 保護具の着装状況

□ 発症時の対応ルールの確認 ※体調不良者は目を離さず、決して一人にしない

飲む

冷やす

⑧ 発症者の帰宅後の確認を行い作業所に報告する。

報告

□ 帰宅後、20時頃に体調不良者の安否を確認し、作業所に報告

【安全衛生協力会スローガン】



熱中症ゼロはみんなの心がけ！決意を宣言して達成しよう！

「熱中症防止対策」～竹中工務店の取組に学ぶ～

作業所 熱中症予防計画書		〇印の具体策は、原則実施とする。 当該の具体策は、異変するが、それ 以降を省略すること		作成： 年 月 日	
項目	作業所必須10項目	対 策 例	担当者	必須	当 作 業 所 で の 実 施 事 項
準備期間	① 作業所は熱中症予防計画を作成し、必要な設備を準備する。	イ ミスト扇風機、・送風機・スポットクーラー等の設置。		○	
		ロ 塩鈴・ウォータークーラー・製氷機・スポーツドリンク自販機の設置。		○	
		ハ クールダウンスペースの設置、経口補水液・冷却バック・体温計の常備。		○	
朝礼時	② 職長は一人ひとりの体調管理状況を確認する。	イ 寝不足・飲み過ぎ・朝食抜き・下痢・嘔吐・発熱等の健康チェックを指導する。		○	
		ロ 高血圧・糖尿病・心疾患の有見者には治療状況の確認をするよう指導する。		○	
		ハ ラジオ体操時に普段通りに体が動くか一人ひとり体調をチェックする。			
③ 作業所は朝礼時、熱中症警戒レベルの行動基準を周知する。	イ WBG T測定器を準備又は、最高気温・湿度情報により朝礼時に熱中症警戒レベルを周知する。		○		
	ロ 「熱中症警戒レベルと行動基準」を休憩所や会議室等、作業員の目に付きやすい場所に掲示する。		○		
作業中	④ 作業所は熱中症の危険度の高い作業・場所を特定し重点巡回を実施する。	イ 作業から単独で離れない共同作業を特定し周知する。（コンクリート打設、共同運搬作業等）		○	
		ロ 風通しの悪い密閉空間作業を特定し周知する。（窓が開かない室内）		○	
		ハ 直射日光を避ることができない屋外作業を特定し周知する。		○	
	⑤ 作業所は熱中症パトロールを積極的に実施する	イ 炎天下や風通しの悪さなど、熱中症リスクの高い作業を特定し、巡回し周知する。（巡回時、作業員へ積極的に巡回し周知を行い、行動や返答がおかしくないか確認する。）		○	
		ロ リーダー会及び事業主巡回時に上記同様の巡回を行うよう指導する。		○	
	⑥ 職長は、作業前・作業中の水分・塩分の適切な補給状況を確認する。	イ 朝一番の強制給水方法（給水場所を決める、スポーツドリンクの提供）		○	1 課長者熱中症予防情報サイト
		ロ 作業中の給水場所（休憩所、作業場所へジャグタンク持参、その他）		○	http://www.wbgtenyo.jp/
	⑦ 職長は熱中症予防保護具（防暑靴・ネッククーラー・空調服）の着用を指導する。既往症のある者は空調服義務化。	イ 作業員へ防暑タレの着脱について指導し、確実に着脱させる。		○	
		ロ アームカバー半袖作業服での作業は、身だしなみに注意し、火気作業以外で使用できることを周知する。		○	
		ハ 事業主巡回で過去に発症した経験がある作業員が空調服を着脱していることを確認する。		○	
⑧ 職長は休憩時、作業中に水のうで体の冷却を徹底する。（脳のクールダウン）	イ 休憩時に水のう等を活用して身体の頭頸部を冷却することを徹底する。（脳のクールダウン）			設置場所：	
⑨ ちよつとでも異常を感じたら、クールダウンスペースに移動し、体の冷却をする。（一人にしない）	イ ちよつとでも異常を感じたらクールダウンスペースに移動し、体の冷却をする。		○	設置場所：	
	ロ 一人で休憩させないよう指導する（休憩ではなく、手当てということを自覚させる）		○	設置場所：	
	イ 「症状が疑われる場合の措置と救急要請のガイドライン」を朝礼会場や休憩所等作業員の目につきやすい場所に掲示する。		○	設置場所：	
⑩ 意識がない、自力で回復できない、30分以上回復しない場合は速やかに病院搬送する。 体調不良者の病状監視及び帰宅後の安否確認	ロ 緊急処置後30分以上回復しなければ、救急車を手配できるようにしておく。（作業所長や統括安全衛生責任者等が不在でも連絡ができる体制を確立しておく）		○	設置場所：	
	ハ 発症後のフォローを確実に行う。		○	設置場所：	
	ニ 医師の診断を受けた場合、診断書のコピーを提出させ本人の就労カードとともに保存する。		○	設置場所：	
その他	- 熱中症ポスター及び当日計画書の活用	イ 熱中症啓発用ポスターを作業所の状況に合わせて選択し、掲示及び周知する。			
		ロ 当「熱中症予防計画書」を掲示及び周知する。		○	

「熱中症防止対策」～竹中工務店の取組に学ぶ～

分からないことは、なんでも「運美部長」に聞いてみよう！

第35回

桃樹の「労務・安全衛生 深掘り探訪記」

私は「桃樹」。東基連に入職し、5年目です。運美部長や先輩達に教えて頂き、少しずつ成長してきたように思います。まだまだ力不足ですが、会員の皆様のために精一杯頑張ります。

さて、そんな私が、日頃、疑問に感じた事柄について、「労務・安全衛生の専門家」にして、私の上司、「運美部長」に、後輩の「希連さん」と一緒に、その疑問をぶつけ、深く、深く、回答を探っていくコーナーです。宜しくお願い致します。



桃樹さん



希連さん

熱中症対策を学びに、(株)竹中工務店さんの東京本店に伺いました。

桃樹さん 読者の皆さん、本日は東基連本部を飛び出し、希連さんと一緒に、東京都江東区新砂の(株)竹中工務店さんの東京本店にきています。

希連さん はい、皆さん、そうなんです。東基連の会員でもある(株)竹中工務店さんの東京本店は、東西線の東陽町駅から徒歩3分。新しい発想のとても素敵な7階建てのオフィスビルです。

桃樹さん そう、「光と風の道」をテーマに、自然光を取り入れ、自然風利用ハイブリッド空調に加え、空間的な感受性の回復にも挑戦した、現代のオフィスに求められる課題への一つの答えを示したとも言われています。

希連さん 今日、東京本店さんに伺ったのは、(株)竹中工務店さんが取り組んでいる「熱中症対策」を学びに来たんですね。

桃樹さん そう！ 今年の夏も猛暑が予想され、熱中症対策の重要性が叫ばれています。

そんな中、昨年の(株)竹中工務店さんの全国の工事現場での熱中症災害発生件数は、ほとんどが不天災害ですが全店で「27件」です。

希連さん 北海道から沖縄までの全国エリアでの件数ですから、極めて少ない件数ですね。そんな結果を導いた、熱中症対策に積極的に取り組まれている(株)竹中工務店さんの工夫の数々を学びに参りました。

桃樹さん それでは、希連さん、今日、教えて頂く(株)竹中工務店・東京本店さんのスタッフの皆さんを、読者の方々に紹介してください。

希連さん はい、ご紹介させていただきます。

まず、(株)竹中工務店、役員補佐(安全環境担当)の松岡さんです。松岡さんは、少し前まで女性初の東京本店・安全環境部長を務めておられました。

次に、東京本店・安全環境部、安全グループ長の高橋さんです。(株)竹中工務店の安全衛生の大黒柱と言われている方です。

そして、若手のホープ、安全グループ・主任の小川さん。小川さんは周囲から「熱中症対策のマイスター」とも呼ばれ、今日は主に小川さんから説明して頂きます。

桃樹さん そして、安全環境部・調査役の野村さんです。調査役として、優しくかつ厳しく指導されるとお聞きしています。今日は、宜しくお願い致します。

「STOP! 熱中症 TOKYO 2025【作業所必須 10項目】

高橋さん ようこそいらっしゃいました。お役に立てるか分かりませんが、今日は、弊社の「熱中症対策」をお話しさせていただきます。

最初に、私が概略をお話しし、詳細については小川主任が説明します。

桃樹さん・希連さん 宜しくお願い致します。

高橋さん はい、弊社の熱中症対策は、協力会社にお願いしている「STOP! 熱中症 TOKYO 2025【事業主必須 8項目】と、作業所での「STOP! 熱中症 TOKYO 2025【作業所必須 10項目】」に全てを盛り込んでいます。

桃樹さん 誌面の関係で、ここでは「作業所必須 10項目」を紹介させていただきます。

希連さん なるほど。【作業所必須 10項目】では「準備期間」、「朝礼時」、「作業時」、「発症時」と大きく4つに分け、その中に細かく対策が記載されているのですね。

STOP! 熱中症 TOKYO2025【作業所必須 10項目】	
準備期間	① 作業所は熱中症予防計画書を作成し、必要の設備を整備する。 ② 作業所は熱中症予防計画書の作成・更新・点検・点検記録の作成 ③ 作業所は熱中症予防計画書の作成・更新・点検・点検記録の作成
朝礼時	④ 朝礼は一人ひとりの体調管理状況を把握する。 ⑤ 朝礼は一人ひとりの体調管理状況を把握する。 ⑥ 朝礼は一人ひとりの体調管理状況を把握する。
作業時	⑦ 作業所は朝礼時、熱中症対策に係るの行動基準を周知する。 ⑧ 作業所は熱中症の危険度の高い作業・場所を特定し、重点対策を実施する。 ⑨ 作業所は熱中症の危険度の高い作業・場所を特定し、重点対策を実施する。
発症時	⑩ 発症は、作業中・作業中の休息・水分の補給・体調管理を実施する。 ⑪ 発症は、作業中・作業中の休息・水分の補給・体調管理を実施する。 ⑫ 発症は、作業中・作業中の休息・水分の補給・体調管理を実施する。

「身体(深部体温)のクールダウン」その1(かき水コーナーなど)

松岡さん 高橋さん、ちょっと、いいかしら。「作業所必須 10項目」は最も大切です。これが根幹です。ただ、少しお話が固くなるので、初めに具体的な事例をご紹介したら、どうかしら。ほら、作業員の皆さんが楽しみにしている「かき水コーナー」とか。

希連さん わー！ かき水コーナー、良いですね！ 私、かき水、大好きです！！

高橋さん 分かりました。他の建設会社さんでも行っていると思いますが、弊社でも

工事現場事務所の一角に「かき水コーナー」を設置している現場が多くあります。

小川さん 熱中症対策の1つとして「身体(深部体温)のクールダウン」があります。

深部体温の冷却方法として、「体内から下げる方法」として、冷たい飲み物や効率よく冷却できるシャベット状の「アイスラリー」の摂取があります。同様に「かき水」を食べるのも体内から深部体温を下げる効果があります。

野村さん 現場事務所に「かき水コーナー」を設置し、休憩時間や昼休みに専属のスタッフが次々に「かき水」を作り、訪れた作業員さんに渡していきます。

シロップも、イチゴや、レモンや、あずき、練乳など沢山揃えているので、評判も良く、大人気です。



「身体(深部体温)のクールダウン」その2(手のひら冷却など)

高橋さん 身体(深部体温)のクールダウンには、「体表面から下げる方法」も有効です。

小川さん 体表面から深部体温を下げるには、特に「手のひらを冷却する」ことが効果的です。洗面器に冷水と氷を入れ、手のひらを浸すことにより身体内部の体温が下がります。凍ったペットボトルや保冷剤を手を持つ方法でも良いです。

勿論、従来から言われている「脇・足の付け根」など、太い血管が体表近くにある場所を冷やす方法も効果が期待できます。

高橋さん 現場には「製氷機」を随所に設置しています。ポリ袋も一緒に置いて、直ぐに「簡易氷嚢」を作れるようにしています。

松岡さん 私から、深部体温と暑熱順化の関係についてお話しても良いかしら。

「熱中症防止対策」～竹中工務店の取組に学ぶ～

体を暑さに慣らす暑熱順化ができると、汗のかきはじめや皮膚血管拡張による熱放散が早くなり、深部体温が上昇しにくくなります。

暑熱順化するには、日常生活の中で、運動や入浴をすることで、汗をかくことが効果的と言われており、暑熱順化への取り組みも大切ですね。

「頭(脳)のクールダウン」

高橋さん 体のクールダウンに関して「頭(脳)のクールダウン」も重要です。小川主任、説明してください。

小川さん はい、脳の温度が上昇し、脳がオーバーヒートすると体内のコントロールが乱れ、体温や心拍、呼吸、血圧の調整がうまくいかなくなり、体調不良を引き起こしますので、脳のクールダウンが重要となります。

脳は頭蓋骨の中にあり、外気による熱の放散ができないので、頸動脈を冷やして冷たい血液を循環させる以外にはありません。

桃樹さん 正直に言いますと「脳のクールダウン」の重要性は、初めてお聞きしたのですが、クールダウンの具体的な方法を教えてくださいませんか。

小川さん 脳をクールダウンするためには、頸動脈(頸の角部)を15分以上冷やします。冷やすタイミングは、休憩時だけでなく作業中も行うことで、より高い効果が期待できます。

高橋さん 先ほど、「製氷機」のお話をしましたが、100均などで販売している氷嚢やポリ袋を用意し、水を入れて休憩時に頸動脈に当てて、クールダウンすることを推奨しています。

また、ネッククーラー等の使用も効果的です。

松岡さん いずれにせよ、頸動脈(頸の角部)を冷却ポイントとして冷やすことが大事です。



WBGT値 31℃以上(危険レベル)予報時に全作業員へ「ORS タブレット」配布

松岡さん もうひとつ、この夏からの新たな取り組みとして「ORS タブレット」の配布も計画しています。

希達さん それは、どのような取り組みですか？

小川さん はい、東京本店管轄での新たな取り組みですが、WBGT値 31℃以上との予報が出た日は、全作業員にORS タブレットを配布し、朝の朝礼の後の給水時にORS タブレットを摂取するものです。勿論、作業員へは推奨はしますが、強制はしません。

希達さん 勉強不足ですみません。「ORS タブレット」について教えていただけますか。

小川さん ORSは、「Oral Rehydration Solution」の略で「経口補水液」のこと、それがタブレットになっているものです。

このタブレットを水に溶かすことで、経口補水液が簡単にできます。またタブレットを食べて水分を飲む事で、同じ効果を得ることができるとされています。

経口補水液は、水分と電解質を水よりも速く吸収し、体内で水分を長時間キープできるので、汗をかく前に飲むのが良いとされており、そういうこともあり、作業開始前の朝礼の後に摂取します。

熱中症対策「行動面」朝の強制給水の実施・ボカリ等の配布

希達さん よく分かりました。朝礼の後には、皆さんで水分を取るんですね。

高橋さん 行動面での対応になりますが、朝礼の後に必ず水分を補給します。名付けて「朝の強制給水」。水分補給できる施設を整備し、全員が、必ずコップ1~2杯の水分を補給します。

桃樹さん 行動面で、他になにか実施していることはありますか？

野村さん 現場を巡視する際に、アイスラリーやボカリを配布しています。

アイスラリーとは、細かい氷の粒子が液体に分散した状態の飲料のことです。職員・リーダーで協力し、曜日・時間帯を設定して、アイスラリーやボカリを持って現場を巡回しながら声掛け、体調確認を図り、その際に、半ば強制的に身体に水分を補給させ、クールダウンをさせるものです。

松岡さん 一緒に回る若い職員が「アイスラリー」や「ボカリ」を担ぎます。これが、少々重くて心配になることもあり、彼らの状態にも気を使っています。

熱中症対策「施設面」各種対策施設の整備を早い段階で計画

希達さん ここまで行動面の対策をお聞きしてきましたが、施設面で気を付けていることを教えてください。

高橋さん 様々な施設を用意しています。その内容については小川主任に説明して貰いますが、私が現場にお願いしているのは、「ともかく早い段階で計画を立てる」ということです。

計画を立て設置していく中で、計画通りにいかないことが必ず出てきます。暑くなる前に態勢を整える必要があります。計画を修正することも当然出てきますから、早め早めの計画の立案をお願いしています。

小川さん 施設面では、できることは何でもやろう！と呼びかけています。

例えば「中間階での給水場所の設置」です。マンションなどの建築工事では、高層階での作業の際、1階まで降りずに気軽に給水ができるように、途中の中間階にも給水施設を設置するようにしています。

野村さん その他に、各所に「ミスト扇風機」を設置し、「熱中症対策飲料自動販売機」を導入し、「熱中症応急セット」、「冷却用製氷機」を常備しています。

松岡さん それと、必ず設置するようにお願いしているのは「クールダウンスペース」です。

現場内に、常時冷却された一室を設けること。部屋を準備できない場合には、室内に密閉できるテントを置き、テント内にクーラーを設置し「簡易クールダウンスペース」とする。

ちょっとでも異常を感じたら、クールダウンスペースに移動し、直ぐに身体を冷却を図るようにしています。

「熱中症警戒レベルに対応した行動基準」の策定

希達さん 行動面でも、施設面でも、しっかり取り組まれているんですね。凄いです。

桃樹さん 本当にそうです。勉強になります。

松岡さん もう一つ、大事なこととして取り組んでいるのは「熱中症警戒レベルに対応した行動基準」です。

分かりやすく言うと、その日のWBGT値に対応した「水分塩分の補給回数」と「休憩・クールダウン」の回数を決めています。

桃樹さん 具体的には、どのようにされているのでしょうか？

小川さん こちらの表を見てください。WBGT値が「21℃以上25℃未満」の場合には、熱中警戒レベル

は「注意！」で、「休憩・クールダウン」は午前10時と午後3時の2回、各15分。「水分塩分補給」は60分毎に1回以上とされています。

しかし、例えばWEBGT値が「28℃以上31℃未満」の場合には、警戒レベルは「嚴重警戒！」とされ、「休憩・クールダウン」は、午前10時と11時、午後3時と4時の4回、各15分。「水分塩分の補給」は、45分毎に1回以上となります。

桃樹さん なるほど！ その日のWBGT値に

熱中症警戒レベルの行動基準						
WBGT	21℃以上 25℃未満	25℃以上 28℃未満	28℃以上 31℃未満	31℃以上 33℃未満	33℃以上 35℃未満	35℃以上
熱中症警戒レベル	注意!	警戒!	注意警戒!	危険!	危険!	危険!
水分補給	-	-	-	1回以上/45分	1回以上/30分	1回以上/30分
休憩	-	-	-	午前10時 午後1時	午前10時 午前11時 午後3時 午後4時	午前10時 午前11時 午後3時 午後4時
その他	WBGT31℃以上ORSタブレット補給!					
備考	炎天下・風通しの悪い場所などリスクの高い場所では、個別に作業監督者等による確認も実施					
休憩時間の確保	午前10時/午後3時		午前10時/午前11時 午後3時/午後4時		午前10時/午前11時 午後3時/午後4時	

しっかり休憩、しっかり水分・塩分補給

「熱中症防止対策」～竹中工務店の取組に学ぶ～

合わせて、「休憩クールダウン」の回数と、「水分塩分補給」の回数・間隔を変化させ対応しているのですね。

松岡さん そうです。気候の変化に合わせて、態勢も変化させていく。ここが重要だと考えています。

桃樹さん ここまで具体的に話を伺って来ましたが、最初に教えて頂いた「STOP! 熱中症 TOKYO 2025【作業所必須 10 項目】」の内容がよく分かりました。ありがとうございました。

さて、残念ですが、今月はここでページが尽きてしまいました。この後のお話は7月号でご紹介します。松岡さん、高橋さん、小川さん、野村さん、お忙しいなか、本当にありがとうございました。来月も宜しくお願い致します。

希漣さん 7月号では、(株)竹中工務店・東京本店さんの「STOP! 熱中症 TOKYO 2025【作業所必須 10 項目】」「熱中症かな?と思ったら」、「熱中症の疑いによる病院搬送までの流れ」などについてご紹介します。

桃樹さん・希漣さん 皆さん、今月も最後までお付き合い下さり、ありがとうございました。

では、7月号でお会いしましょう。



第 34 回 桃樹のちょこっと用語 「職場における熱中症対策の強化」

- 熱中症の重篤化による死亡災害を防止するため、熱中症のおそれがある作業者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することが可能となるよう、事業者に対し、「早期発見のための体制整備」、「重篤化を防止するための措置の実施手順の作成」、「関係者への周知」を義務付け、労働安全衛生規則の一部を改正したもの。
- 改正の概要は、以下のとおり。
 - 1 熱中症を生ずるおそれのある作業^(※)を行う際に、「①熱中症の自覚症状がある作業員」、「②熱中症のおそれがある作業員を見つけた者」がその旨を報告するための体制(連絡先や担当者)をあらかじめ整備し、関係作業員に対して周知すること。
 - 2 熱中症を生ずるおそれのある作業を行う際に、「①作業からの離脱」、「②身体の冷却」、「③必要に応じて医師の診察又は処置を受けさせること」、「④事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先及び所在地等」など、熱中症の症状の悪化を防止するために必要な措置に関する内容や実施手順を作業場ごとにあらかじめ定め、関係作業員に対して周知すること。

※WGBT(湿球黒球温度)28℃以上又は気温31℃以上の環境下において行われる作業で、連続1時間以上又は1日当たり4時間を超えて行われることが見込まれるもの。
- 労働安全衛生規則に、上記内容が盛り込まれた「第 612 条の 2」が新設された。
- 公布日：令和 7 年 4 月 15 日。施行日：令和 7 年 6 月 1 日。

「熱中症防止対策」～竹中工務店の取組に学ぶ～

分からないことは、なんでも「**蓮美部長**」に聞いてみよう！

第 36 回

桃樹の「**労務・安全衛生 深掘り探訪記**」

私は「桃樹」。東基連に入職し、5年目です。蓮美部長や先輩達に教えて頂き、少しずつ成長してきたように思います。まだまだ力不足ですが、会員の皆様のために精一杯頑張ります。

さて、そんな私が、日頃、疑問に感じた事柄について、「労務・安全衛生の専門家」にして、私の上司、「蓮美部長」に、後輩の「希漣さん」と一緒に、その疑問をぶつけ、深く、深く、回答を探っていくコーナーです。宜しくお願い致します。



桃樹さん



希漣さん

熱中症対策を学びに、(株)竹中工務店さんの東京本店さんに来ています

桃樹さん 読者の皆さん、本日は東基連本部を飛び出し、希漣さんと一緒に、東京都江東区新砂にある(株)竹中工務店さんの東京本店に来ています。

希漣さん 6月号に続き、今月も(株)竹中工務店・東京本店さんに熱中症対策を教えてください。

桃樹さん それでは、希漣さん、教えてください(株)竹中工務店・東京本店さんのスタッフの皆さんを、再度、読者の方々に紹介してください。

希漣さん はい、ご紹介させていただきます。

まずは(株)竹中工務店、役員補佐(安全環境担当)の松岡さんです。松岡さんは、少し前まで女性初の東京本店・安全環境部長を務めておられました。

次に、東京本店・安全環境部、安全グループ長の高橋さん。(株)竹中工務店の安全衛生の大黒柱と言われている方です。

さらに若手のホープ、安全グループ・主任の小川さん。小川さんは周知から「熱中症対策のマイスター」とも呼ばれ、熱中症対策の最前線におられます。

桃樹さん そして、安全環境部・調査役の野村さんです。調査役としての、優しくかつ厳しく指導されるとお聞きしています。

宜しくお願い致します。

STOP! 熱中症 TOKYO 2025 【作業所必須 10 項目】

希漣さん 先月号では、主に具体的な取り組みの事例を紹介して頂きました。

今月号では、STOP! 熱中症 TOKYO 2025 【作業所必須 10 項目】に沿って、取り組み内容を教えてください。高橋さん、宜しくお願い致します。

高橋さん それでは、「作業所必須 10 項目」の

STOP! 熱中症 TOKYO2025 【作業所必須10項目】	
準備期間	① 作業所は熱中症予防計画を作成し、必要な設備を準備する。 <small>①-1 作業所ごとに計画を作成し、関係者へ周知する。 ①-2 塩飴・ウォータークーラー・製氷機、ミストファン・冷却マット等の準備。 ①-3 作業所ごとに計画を作成し、関係者へ周知する。</small>
朝礼時	② 職長は一人ひとりの体調管理状況を確認する。 <small>②-1 体温計、血圧計、血糖計、心電図計等の測定器具を準備する。 ②-2 作業所ごとに計画を作成し、関係者へ周知する。 ②-3 作業所は朝礼時、熱中症警戒レベルの行動基準を周知する。</small>
作業時	③ 作業所は熱中症の危険度の高い作業、場所を特定し重点巡回を実施する。 <small>③-1 作業所ごとに計画を作成し、関係者へ周知する。 ③-2 作業所は熱中症予防計画(防炎服・空調服等)の着脱を確認する。 ③-3 職長は休憩時、作業中に水の場で身体を冷却し、(塩飴・ウォータークーラー)を準備する。</small>
作業後	④ 作業所は、作業前、作業中の水分・塩分の必要な補給状況を確認する。 <small>④-1 作業所ごとに計画を作成し、関係者へ周知する。 ④-2 作業所は作業終了後、関係者へ周知する。</small>
緊急時	⑤ 職長は熱中症予防対策(防炎服・空調服等)の着脱を確認する。 <small>⑤-1 作業所ごとに計画を作成し、関係者へ周知する。 ⑤-2 作業所は熱中症予防対策(防炎服・空調服等)の着脱を確認する。</small>
緊急時	⑥ 作業所は、作業前、作業中の水分・塩分の必要な補給状況を確認する。 <small>⑥-1 作業所ごとに計画を作成し、関係者へ周知する。 ⑥-2 作業所は作業終了後、関係者へ周知する。</small>
緊急時	⑦ 職長は熱中症予防対策(防炎服・空調服等)の着脱を確認する。 <small>⑦-1 作業所ごとに計画を作成し、関係者へ周知する。 ⑦-2 作業所は熱中症予防対策(防炎服・空調服等)の着脱を確認する。</small>
緊急時	⑧ 作業所は、作業前、作業中の水分・塩分の必要な補給状況を確認する。 <small>⑧-1 作業所ごとに計画を作成し、関係者へ周知する。 ⑧-2 作業所は作業終了後、関係者へ周知する。</small>
緊急時	⑨ 職長は熱中症予防対策(防炎服・空調服等)の着脱を確認する。 <small>⑨-1 作業所ごとに計画を作成し、関係者へ周知する。 ⑨-2 作業所は熱中症予防対策(防炎服・空調服等)の着脱を確認する。</small>
緊急時	⑩ 作業所は、作業前、作業中の水分・塩分の必要な補給状況を確認する。 <small>⑩-1 作業所ごとに計画を作成し、関係者へ周知する。 ⑩-2 作業所は作業終了後、関係者へ周知する。</small>

各項目について概要を私がお話しし、詳細について小川主任から説明します。

桃樹さん・希漣さん 宜しくお願いします。

高橋さん 先月もお示ししましたが、STOP! 熱中症 TOKYO 2025【作業所必須 10 項目】をご覧ください。

対策を大きく「準備期間」、「朝礼時」、「作業時」、「発症時」と4つに分け、それぞれの実施事項を定めています。それが10項目ありますので、「作業所必須10項目」とネーミングしました。

桃樹さん・希漣さん なるほど、「準備期間」、「朝礼時」、「作業時」、「発症時」とし、その中に細かく対策が記載されていますね。

準備期間 必須項目①「熱中症予防計画を作成し、必要な設備を準備する」

高橋さん 準備期間は4月を想定していますが、4月中にここに定めた準備を終了することを目指しています。では、小川主任、説明をお願いします。

小川さん はい、必須項目の1番目ですが、この期間に行うことは「熱中症予防計画の作成」と、「必要な設備の準備」です。「熱中症予防計画」はこちら(次ページ)になります。

桃樹さん なるほど!「作業所必須10項目」で示された各項目に対応しているんですね。

小川さん そうです。「必須10項目」が絵に描いた餅にならないことが大事です。各現場における「必須10項目」の実施事項が明確になるようにしています。

野村さん 計画書の「欄」に、「必須」という項目を立てています。

ここに○印がある事項は「原則実施」とし、空欄の事項は「推奨」として、それぞれの作業所で実施の有無を判断することとしています。

希漣さん ほとんどが「必須」ですが、作業所で検討して工夫する余地を残しているんですね。

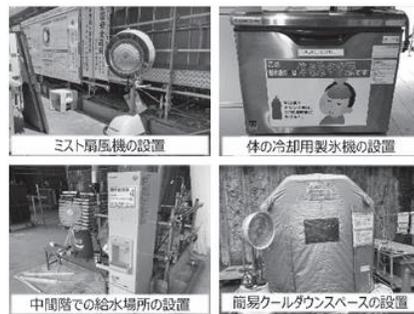
小川さん はい、そして、必要な準備は3つです。1つは「ミスト扇風機・送風機・スポットクーラー等の設置」。

2つ目は「塩飴・ウォータークーラー・製氷機・スポーツドリンク自販機の設置」。

3つ目は「クールダウンスペースの設置、経口補水液・冷却バック・体温計の常備」です。

松岡さん 現場では、こんなふうに設置しています。

桃樹さん これらを、準備期間の4月のうちに計画し、用意し、設置するんですね。
松岡さん そうです。高橋さんが先月号で言っていました、「早め・早め」、「先手・先手」が大事ですから、各現場には4月中に準備を終えるようにお願いしています。



朝礼時 ②「一人ひとりの体調確認」③「熱中症警戒レベルの行動基準の周知」

高橋さん 次は「朝礼時」です。朝礼時に実施する必須項目は2つ。

1つは「職長は一人ひとりの体調管理状況を確認する」。ここで示した事項は3つ。

- ・寝不足・飲み過ぎ・朝食抜き・下痢・嘔吐・発熱は要注意。
 - ・高血圧・糖尿病・心疾患の有所見者は治療状況の確認。
 - ・ラジオ体操時に普段通りに体が動くか一人ひとり体調をチェック。
- ポイントは、職長が責任をもって作業員の体調を確認することです。この点を何度もお願っています。

「熱中症防止対策」～竹中工務店の取組に学ぶ～

■ 編集後記 ■

熱中症の危険度を表す WBGT 値。その値が 31℃ を超えると予想された日の朝礼。安全衛生スタッフが「今日の巡視では、アイスクリームを配ります」と。作業員達からは「おおー！」との歓声が。(株)竹中工務店・東京本店の担当者から教えて頂いたエピソード。この熱中症防止への取組は、本号と来月号の「労務・安全衛生深掘り探訪記」で詳しく紹介するが、担当者は「出来ることは何でも行います」と。そして「作業員を始め多くの人々から様々なアイデアが、熱中症防止に向けお祭り状態です」とも。

東京の熱中症を原因とする死亡・休業 4 日以上労働災害は右肩上がりで増加。令和 3 年に 44 件であったものが、令和 6 年は 106 件に(死亡災害は 4 件)。東京労働局健康課では「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」を 5 月 1 日から開始。熱中症対策の強化を定めた改正安衛則の 6 月 1 日からの施行も踏まえ、死亡・重篤災害の防止のために、「暑さ指数の把握と評価」等、重点対策の徹底を呼び掛けている。

私が労働基準行政に入職し、初めて担当した災害調査は感電災害だった。被災者が握っていた 2 メートルほどの長さの金属製のパイプ。そこに残された左右の掌(てのひら)の痕跡を撮影し、その位置をメジャーで測定した。労働とは、労働災害とは、人の生死に直結していることを教えられた。決して起こしてはならないと、強く思った。

「安全文化」とは、「安全を重要と考える組織文化」と言われている。安全衛生に関する取組の中で、誰もが自社の「組織文化」を構築している。その根底にあるものは、仲間の命を守るとの思いであろう。先の担当者は「熱中症災害は、対策を講じれば講じるほど減少します。昨年の弊社の工事現場での熱中症災害発生件数は、殆どが不労災害ですが、全国で 27 件です」と。ここにも確かな「組織文化」がある。

全国安全週間準備期間が 6 月 1 日からスタート。本年度のスローガンは「多様な仲間と 築く安全 未来の職場」。多様な仲間の命を守る夏が、始まった。(小太郎)

